

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																							
河原アイベツワールド専門学校	平成16年3月26日	石川 達也	〒790-0006 愛媛県松山市南堀端町6番地11 (電話) 089-935-8787																							
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																							
学校法人河原学園	昭和60年10月21日	河原 成紀	〒790-0001 愛媛県松山市一番町一丁目1番地1 (電話) 089-943-5333																							
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																						
文化・教養	文化・教養関係専門課程	トリマー学科	平成29年2月28日 文部科学大臣告示第30号	—																						
学科の目的	動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れ、動物管理の専門能力を持つとともに、ペット美容師として必要な美容知識・グルーミング技術の習得・習熟はもちろんのこと、動物看護基礎知識、しつけトレーニングの基礎など総合的に学習し第一線で活躍できる人材を育成し、地域社会の発展に貢献する。																									
認定年月日	平成26年3月31日																									
修業年限	昼夜	講義	演習	実習	実験	実技																				
2年	2,130時間	600時間	150時間	1,380時間	0時間	0時間																				
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																					
80人	42人	0人	3人	8人	11人																					
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 定期試験、確認テスト、提出物、授業態度、実習態度、出席率などに基づき総合的に評価する																						
長期休み	■学年始:4月1日～7月31日 ■夏季:8月1日～8月31日 ■冬季:12月20日～1月7日 ■学年末:3月1日～3月31日		卒業・進級条件	・履修するすべての科目においてSABCIいずれかの評価を得ること ・原則として出席率90%以上であること																						
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 本人、保護者への電話対応及び自宅訪問を実施。遅刻が目立つ学生には保護者面談を実施。		課外活動	■課外活動の種類 ドッグショーへの参加  ■サークル活動: 有																						
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(2019年度卒業生) ペットサロン、ペットショップなどの動物関連業界  ■就職指導内容 1年次より、動物業界理解のためのインターンシップ実習を実施し、2年次は就職を意識したインターンシップ実習を行っている。 ■卒業者数 19人 ■就職希望者数 19人 ■就職者数 19人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 ・進学者数: 0人  (2019年度卒業生に関する2020年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等(2019年度卒業生に関する2020年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JKCトリマーライセンスC級</td> <td>③</td> <td>19人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)  ■自由記述欄			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	JKCトリマーライセンスC級	③	19人	17人												
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																							
JKCトリマーライセンスC級	③	19人	17人																							
中途退学の現状	■中途退学者 5名 2018年4月1日時点において、在学者 42名 2019年3月31日時点において、在学者 37名 ■中途退学の主な理由 5名ともに進路変更のため退学となった。 ■中退防止・中退者支援のための取組 ・遅刻欠席が続いた場合、早期に学園カウンセラーや保護者との連携を強化していく。 ・問題があると判断した新入生には、保護者及び高校担任からのヒアリングを実施し、学校教職員で共有する体制を構築する。		■中退率 11.9% (2019年4月1日入学者を含む) (2020年3月31日卒業生を含む)																							
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 無 ※特待生制度(授業料1,000,000～150,000円減免)、AO入試特典(初年度授業料100,000円減免)、推薦特典(初年度授業料50,000円減免)、自己推薦特典(初年度授業料30,000円減免)、大学・短大・社会人特典(初年度授業料750,000円減免)、家族制度(初年度授業料50,000円減免)、再入学制度(入学金150,000円減免) ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※平成29年度の給付実績者数 0名																									
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 評価団体: JAMOTE認証サービス株式会社 (JAMOTEC)、受審年月: 平成28年12月10,11日																									
当該学科のホームページURL	URL: www.kawahara.ac.jp/ipet/																									

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)  
最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)  
「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。  
(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について  
①「就職率」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。  
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。  
③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。  
※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度中に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学、専攻科、別科の学生は除きます。  
(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について  
①卒業者に占める就職者の割合とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。  
②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。  
(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)  
認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育課程の編成においては、業界及び社会の変化やニーズ、在校生及び卒業生の仕上がり状況等の不断の組織的、継続的検証を行う必要がある。企業等から広く、具体的に意見を求め、高度で実践的な教育課程を編成するために、新たな授業科目の開設における連携はもちろんのこと、現存のシラバスやコマシラバスにまで落とし込める授業内容・方法の改善並びに教材開発につながる連携を行うことを基本方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

本校職業実践専門課程においてより実践的かつ専門的な高度職業教育を行う観点から、企業・業界団体等より業界における人材の専門性に関する動向や求められる知識・技術等について意見を聴き、これを踏まえてカリキュラムや教育方法の改善・工夫に組織的、継続的に取り組むことを目的とする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

2019年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
永井 政人	高知食糧株式会社 ペット Step 余戸店	2019年4月1日～2020年3月31日	①
友澤 敏彦	株式会社アイクコーポレーション 愛媛こまち編集部	2019年4月1日～2020年3月31日	②
井手 一夫	ペットサロン松山	2019年4月1日～2020年3月31日	③
石川 達也	河原アイペットワールド専門学校		
川邊 大介	河原アイペットワールド専門学校		
長谷 歩	河原アイペットワールド専門学校(学科責任者)		
門田 有生	河原アイペットワールド専門学校		

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (前期後期終了後に各期総括として開催するため11月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 2019年11月7日 17:00～18:30

第2回 2020年2月20日 16:00～17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

・インターンシップ実習について短期間の場合評価も難しく実習生をしっかりと指導できないとの意見があり、実習期間について最低1週間、基本10日以上での依頼に平成30年度冬季インターンシップ実習(12/26～1/7)から変更する。  
・顧客ニーズの多様化に対応するためシャンプーについては、学校で使用している企業担当者からのシャンプー成分や汚れの落ち方の原理などの講習を9/8と10/17に実施。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等と連携した実習等は、1)学生が校内における通常の実習等では得ることが難しい実践的、専門的な知識や技術等を習得する場であり、2)さらには学習してきた知識や技術の理解度、習熟度を再確認し、3)企業等の関係者から具体的に実践的な評価を得て、学生の実務能力を多面的に開発する機会とする。また学生能力の習得のみならず、その機会を通じて、学校の実習カリキュラムがより実践的な内容になるよう努めることとする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

インターンシップ実習については、一定の評価基準を設定し企業によつての評価差が出ないよう実習評価表を整備している。また、現場でのニーズなどを具体的に講義するよう依頼している。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
インターンシップ実習Ⅰ	企業理解のための指定動物病院へのインターンシップ実習(1年次)	愛媛県内外の動物関連企業
インターンシップ実習Ⅱ	就職希望企業へのインターンシップ実習(2年次)	愛媛県内外の動物関連企業
グルーミング実習Ⅰ	ベーシック作業、部分カットを主体としたグルーミングの基礎を身につける	ペットショップパピヨン、ドッグサロンドギースマイル
グルーミング実習Ⅱ	トリミング全般、実技試験対策をおこない、グルーミングの中でもトリミングの技術を身につける	ペットショップパピヨン、ドッグサロンドギースマイル
コンピューター実習Ⅰ	ワードの基本的な操作方法を習得し、サーティファイワード3級資格取得を目指す。	アビリティセンター

### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

#### (1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

本校の教員研修の基本方針は、1)各教員の専攻分野における実務に関する高度な専門知識・技術の修得、2)およびそれらを授業計画(カリキュラム、シラバス、コマシラバス)に落とし込む能力の修得、3)さらにはその研鑽を実際の授業運営に反映させる教育力の修得を目的として、教職員研修規程第2条に定める研修を受講させることとする。同規程第3条に定めるとおり、所属長及び法人本部総務部責任者は、各教員の実務専門性や教育力の組織的で継続的な向上に努めることとする。

#### (2) 研修等の実績

##### ① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「愛媛県における愛護活動」(連携企業等:愛媛県動物愛護センター)

期間:5月7日(火) 対象:河原アイペットワールド専門学校教員、動物看護・栄養管理学科1年生

内容:愛媛県における動物愛護活動や殺処分状況の講習を受講し、愛護活動取り組みについての意見交換を実施

研修名「JKCTリマー義務研修会」(連携企業等:ジャパンケネルクラブ)

期間:8月27日(火) 対象:河原アイペットワールド専門学校教員

内容:ミニチュアシュナウザーのショートトリミングとスタンダードの解説及び様々なペットカットについての意見交換を実施

研修名「シザー講習会」(連携企業等:株式会社内海)

期間:12月5日(木) 対象:河原アイペットワールド専門学校教員、トリマー学科1年生

内容:シザーの扱い方、手入れ方法についての意見交換を実施

##### ② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「性の多様性を理解するために」(講師:鳴門教育大学学校教育学部 教授 葛西真記子様)

期間:8月21日(火) 対象:学校運営者、教務

内容:教育現場におけるLGBTフォローの重要性を認識し、ジェンダーの問題に起因する休退学防止ひいては自殺を防止するための研修を実施する。

研修名「シラバスと学校教育〈学習〉か〈教育〉か、あるいは学校教育の主体性について」(講師: 河原学園副学園長 芦田宏直)

期間:12月24日(火) 対象:学校運営者、教務

内容:コマシラバスの重要性を理解し、コマシラバス作成能力および授業の質を向上させるための研修を実施する。

研修名「学校内で起こる法的事案についての適切な対応を学ぶ」(講師: ひめはな法律事務所 弁護士 射場和子様)

期間:3月17日(火) 対象:校長、学校運営者

内容:学校現場における法的事案の事例を学びながら、各事案における適切な対応方法について理解する研修を実施する。

### (3) 研修等の計画

#### ① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「愛媛県における愛護活動」(連携企業等:愛媛県動物愛護センター)

期間:5月上旬 対象:河原アイペットワールド専門学校教員、動物看護・栄養管理学科1年生

内容:愛媛県における動物愛護活動や殺処分状況の講習を受講し、愛護活動取り組みについての意見交換を実施

研修名「サロントリマー検定指導項目研修」(連携企業等:全国動物専門学校協会)

期間:8月下旬 対象:河原アイペットワールド専門学校教員

内容:サロントリマー新基準講習と検定員資格認定見学会についての意見交換を実施

研修名「JKCTリマー義務研修会」(連携企業等:ジャパンケネルクラブ)

期間:8月 対象:河原アイペットワールド専門学校教員

内容:ビションフリーゼにおけるヨーロッパン&アメリカンクリップの違いについての意見交換を実施

研修名「シザー講習会」(連携企業等:株式会社内海)

期間:11月 対象:河原アイペットワールド専門学校教員、トリマー学科1年生

内容:シザーの扱い方、手入れ方法についての意見交換を実施

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「河原学園新人教員研修」

期間:4月～7月にかけて12回程度を予定 対象:2019年度入職の新任教員

内容:専修学校制度、職業実践専門課程概要、第三者評価、職業教育のあり方、教育目標・科目目標の設定、シラバス・コマシラバスの作成、授業成果評価、就職サポート、自然災害発生時対応、アカハラ相談等、専門学校における教育活動全般に関する研修を実施する。

研修名「データを用いたデジタルトランスフォーメーション講座」(連携企業等:株式会社 ビーアライブ)

期間:1月頃を予定 対象:学校運営者、教務責任者、広報責任者

内容:デジタルトランスフォーメーション(DX)が単なる手段ではなく、データを用いた組織・ビジネス変革であることを理解し、自校と外部のデータを掛け合わせながら学校や社会の課題解決を促すことのできる人材の育成を目指す研修を実施する。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

本学全般の運営(経営、教育の現状、およびそれらの短・中・長期課題や方針、社会的責務など)について、学校関係者より意見を聴き、これを踏まえて学校運営の組織的、継続的な改善に取り組むことを目的とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育成人材像は明確に定められているか
(2)学校運営	学校組織は明確に位置付けられ、各部署で役割分掌がなされているか
(3)教育活動	コマシラバスには、その授業のキーポイントや授業の流れ、予復習のポイント、ポイントと関連する詳細な参照文献・資料などが具体的に記入されているか
(4)学修成果	在籍率、休退学率、出席率、資格取得率について目標は明確に数値化されているか
(5)学生支援	就職率実績の学内外の公開は、卒業年次5月1日在籍数を元に、休学者数、進学者数、卒業不可者数、無業者数などの内訳と共に示されているか
(6)教育環境	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか(講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか)など
(7)学生の受入れ募集	学生の受け入れ方針(アドミッションポリシー)は明示されており、公正かつ適切に学生募集及び入学者選考を行っているか
(8)財務	財務について会計監査が適正に行われているかなど
(9)法令等の遵守	学校教育法、私立学校法、専修学校設置基準などの重要な法律、省令をはじめ、学則や就業規則、その他規則・規程に基づき業務が執行されているか
(10)社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

一般的な計算・漢字などの基礎学力の向上についての取り組み:補習が必要と学内教務会議で判断された学生への補習体制の強化(専任教員が学科を横断し授業を担当することで担任へのサポートができる体制に改編した)

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

2019年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
木山 美樹	在校生保護者	2019年4月1日～2020年3月31日	在校生保護者
森岡 大輝	高知食糧株式会社 ペットStep松山余戸店	2019年4月1日～2020年3月31日	卒業生
川原 佑樹	ひごペットフレンドリー エミフル松前店	2019年4月1日～2020年3月31日	就職先企業担当者
徳永 晴樹	松山東雲中学・高等学校 校長	2019年4月1日～2020年3月31日	高校教員
谷口 祐一	南堀端町内会 監事	2019年4月1日～2020年3月31日	地域の有識者
塚田 祐介	松山ほうじょう動物クリニック	2019年4月1日～2020年3月31日	教育課程編成委員会委員
井手 一夫	ペットサロン松山	2019年4月1日～2020年3月31日	教育課程編成委員会委員
鳥飼 和樹	K9Japan	2019年4月1日～2020年3月31日	教育課程編成委員会委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ))

URL: [www.kawahara.ac.jp/ipet/](http://www.kawahara.ac.jp/ipet/)

公表時期: 2019年8月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

自己点検報告の評価を含めた外部評価委員の意見聴取に基づいて審議内容を整理し、学校運営に反映することに務め、審議内容については、公表事項を整理しすみやかに公表しなければならない。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	専修学校設置基準及び職業実践専門課程の認定要件に沿った適切な運営がなされているかなど
(2) 各学科等の教育	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされ
(3) 教職員	人事、給与に関する制度は整備されているかなど
(4) キャリア教育・実践的職業教育	学校における職業教育の特色は明確になっているかなど
(5) 様々な教育活動・教育環境	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか(講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく整備されているか)など
(6) 学生の生活支援	学生相談に関する体制は整備されているか(相談窓口が設置されているか)など
(7) 学生納付金・修学支援	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているかなど
(8) 学校の財務	財務について会計監査が適正に行われているかなど
(9) 学校評価	自己点検・評価結果を公開しているかなど
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ))

URL: [www.kawahara.ac.jp/ipet/](http://www.kawahara.ac.jp/ipet/)

授業科目等の概要

(文化・教養関係専門課程 トリマー学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			グルーミング理論	ベーシック作業全般、ハンドリング論ーベーシック作業の手順、道具の扱い、犬の扱い、テーブルマナーを学ぶ。	1年前後期	60	4	○			○		○	○	
○			トリミング理論Ⅰ	ペットクリップ全般ー道具の扱い、トリミング手順、犬種別トリミング方法を学ぶ。	1年前後期	60	4	○			○		○		
○			動物健康管理学Ⅰ	健康管理についてー健康チェック、体の仕組みと疾患、デンタルケア、感染予防、ワクチン、ノミマダニ、フィラリア、繁殖と助産、消毒、応急処置を学ぶ。	1年前後期	60	4	○			○		○		
○			スモールペット飼育学	猫と小動物についてー猫・ウサギ・ハムスター・フェレット・モルモット・小鳥・チンチラなどの飼育管理を学ぶ。	1年前後期	60	4	○			○		○		
○			愛玩動物飼養管理士論	愛玩動物飼養管理士2級合格を目指す。狂犬病予防法・動愛法・鳥獣保護法・AAE・AAA・HAB・飼養管理・動物愛護を学ぶ。	1年前後期	60	4	○			○	○	○	○	
○			グルーミング実習Ⅰ	ベーシック作業、基礎トリミング(爪切り、耳掃除、ベイジング、ドライグ、クリッピング、トリミング方法)を学ぶ。	1年前後期	480	16				○	○		○	○
○			造形美術Ⅰ	ケネル&ラムクリップのシザーワークーマネキンカット、トリミングの手順、シザーワークを学ぶ。	1年後期	30	2	○			○			○	
○			インターンシップ実習Ⅰ	企業理解のための指定動物企業へのインターンシップ実習(1年次 1日6時間×5日間を実施)	1年後期	30	1				○		○		○
○			コンピューター実習Ⅰ	ワードの基本的な操作方法を習得する	1年前後期	60	2				○	○			○
○			トリマーワーク演習	接客対応、スタンダードーカルテ作成、お便り、電話対応、モデル犬管理、各犬種スタンダード、血統書について学ぶ。	1年前期	30	1				○			○	

(文化・教養関係専門課程 トリマー学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ペットショップ演習	ペットショップにおける販売について一販売、サービス、接客、ポップ、対応力、マナー、顧客管理、レイアウトを学ぶ。	1年前後期	60	2		○		○		○		
○			トレーニング演習	犬のしつけに関すること一犬学（概論）歴史・行動学・トレーニングの基礎・社会化・パピークラス・問題行動に基づく対処・学習理論を学ぶ。	1年前後期	60	2		○		○		○		
○			就職実務Ⅰ	面接指導やナチュラルメイクやスーツの着こなしなど就職活動に必要な準備を行う。	1年通年	60	4	○			○		○	○	
○			トリミング理論Ⅱ	スイニング、ブラッキング犬種一スパンエル種、テリア種、Mシュナウザーのトリミング方法を学ぶ。	2年前期	30	2	○			○		○		
○			トリミング理論Ⅲ	シザーリング犬種（ショークリップ）一プードルのショークリップ、ビションフリーゼのトリミング方法を学ぶ。	2年後期	30	2	○			○		○		
○			動物健康管理学Ⅱ	健康管理について一健康チェック、体の仕組みと疾患、デンタルケア、感染予防、ワクチン、ノミマダニ、フィラリア、繁殖と助産、消毒、応急処置を学ぶ。	2年前後期	60	4	○			○		○		
○			栄養学	ペットフードに対する理解を深める一5大栄養素、ペットフード、ライフステージ、動物種別栄養管理、家庭用食材と害を学ぶ。	2年後期	30	2	○			○		○		
○			グルーミング実習Ⅱ	トリミング全般一ベーシック、トリミング、スピードトリミング、ケネル&ラムクリップ検定対策を実施。	2年前後期	720	24			○	○		○	○	○
○			造形美術Ⅱ	ケネル&ラムクリップのシザーワーク一マネキンカット、トリミングの手順、シザーワークを学ぶ。	2年前期	30	2	○			○		○		
○			ハンドリング実習	ハンドリングの基本一テーブルマナー、スタック、リードの扱い、犬の扱いについて学ぶ。	2年前期	30	1			○	○		○		



(文化・教養関係専門課程 トリマー学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			インターンシップ実習Ⅱ	就職希望企業へのインターンシップ実習	2年前期	30	1			○		○		○	○
○			コンピューター実習Ⅱ	エクセルの基本技術を習得する	2年前後期	30	1			○	○	○		○	
○			就職実務Ⅱ	面接指導など就職活動に必要な準備を行う	2年前期	30	2	○			○		○		
合計					23 科目		2,130 単位時間 ( 91 単位)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>履修するすべての科目において、S・A・B・Cいずれかの評価を得ること</li> <li>原則として出席率90%以上であること</li> </ul>		1学年の学期区分	前後期
		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。